

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム Ver.2.7.6 (2016) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)野跡南 物流倉庫 新築工事 西棟	階数	地上2F
建設地	愛知県名古屋港区野跡三丁目6番1の一部	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	116 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年11月24日
敷地面積	6,045 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,882 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,901 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ計算で高い数値を計画し、室内環境向上に努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	昼効率を3.3%確保し、室内採光を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	BPI=0.8以下を計画し、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。
Q2 サービス性能	配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とし、配管の耐用年数の向上に努めた。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)野跡南 物流倉庫 新築工事 西棟

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>4.1</b>
LR1	エネルギー	4.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>1.9</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.12	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.012
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.06	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.6</b>
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 4.1



#### 2. 自然共生

評価点 = 1.9



#### 3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。